

平成 28 年度

一般社団法人 奈良県作業療法士会

定時社員総会 社員総会参考書類



期日 平成 28 年 6 月 5 日 (日) 15 : 15 ~

会場 関西学研医療福祉学院

総会次第

1. 開会の挨拶
2. 議長選出
3. 総会議事録署名人 選出
4. 第一号議案 平成 27 年度 事業報告
5. 第二号議案 平成 27 年度 収支報告
6. 第一号、第二号議案に関する質疑応答並びに採決
7. 第三号議案 平成 28 年度 事業計画
8. 第四号議案 平成 28 年度 予算計画
9. 第三号、第四号議案に関する質疑応答並びに採決
10. 閉会の挨拶

平成 28 年度 入会者数 名

総会参加者数 名

委任状総数 枚

() %

御挨拶

一般社団法人 奈良県作業療法士会
会長 大松 慶子

桜の季節も過ぎ、早やふた月となります。

会員の皆様、新入会の方々におかれましては、新年度の慌しさが落ち着かれましたでしょうか。おかげ様で、当士会は、法人として4回目の総会を無事迎えることができました。これもひとえに会員の皆様方のご協力の賜物と、役員一同、感謝申し上げます。

さて、超高齢社会の中、地域包括ケアの重要性はますます高まっています。私たち奈良県作業療法士会にも、各市町村から活動の依頼をいただいております。今後は、地域ケア会議への参加も増えることが予想されます。地域包括ケアの考え方は、高齢者のみならず全ての人に通じる考え方です。働く領域にかかわらず、自分の担当しているクライアントが地域で生活していくためには何が必要か、考える機会にできるといいですね。

これからは、厚生労働省が強調する「活動と参加へのアプローチ」が求められる時代であり、作業療法士の力を発揮しさらに高める、絶好の機会です。一人ひとりの会員が、日常の臨床活動に加え、ひとつでも、「自分にできることは何か？」と考え、まず一歩、地域に足を出していく年にしましょう。その活動をつなげて、私たちの奈良と奈良県作業療法士会をさらにしっかり創っていきましょう。

今年度も、どうぞよろしくお願ひ致します。

役職	氏名	所属
【 理事 】		
会長	大松 慶子	(一社) 奈良県作業療法士会
副会長	東條 秀則	秋津鴻池病院
副会長(事務局長)	西井 正樹	白鳳短期大学
事務副局長	毛利 陽介	白鳳短期大学
学術部長	辰己 一彦	UT ケアシステム
事業部長	大西 和弘	秋津鴻池病院
教育部長	木納 潤一	秋津鴻池病院
保健福祉部長	前岡 伸吾	天理よろづ相談所病院 白川分院
北和ブロック長	土井 一輝	東大寺福祉療育病院
中和ブロック長	北別府 慎介	西大和リハビリテーション病院
南和ブロック長	金星 聡	奈良県総合リハビリテーションセンター
地域包括ケアシステム委員長	安井 敦史	UT ケアシステム
【 監事 】		
	内川 誠	国立病院機構 やまと精神医療センター
	中上 裕隆	介護老人保健施設 やくしの里

第一号議案 平成二十七年度 事業報告

会長

会長 大松慶子

平成 27 年度の計画

1. 地域包括ケアシステムでの作業療法の役割を会員間で確認し、対外的に広める
2. 啓発活動の充実
3. 会員の質的向上を目指した取り組み
4. 近畿連絡協議会との連携をすすめる

地域包括ケア関連では、生活行為向上マネジメント（MTDLP）に関して複数回の研修会を実施し、多くの会員が参加した。各ブロック会議でも出張のミニ学習会を開催した。現在、少しずつ事例が報告されつつある。認知症予防では、認知症支援委員会を中心に取り組みが進んでいる。また、今年度は初の試みとして、奈良県地域医療介護総合確保基金を利用して地域包括ケア構築のための人材育成の研修会を開催した。啓発活動では、パーキンソン病友の会など難病患者への支援活動を継続的に実施し、日本プライマリ・ケア学会近畿地方会へ4演題の発表と運営協力を行った。啓発委員会では第2期生として10名の参加があり、活動の輪が広がっている。質的向上では、認定作業療法士は残念ながら転入者も含め10名にとどまった。近畿連絡協議会との連携では、東條副会長を中心に、4事業（MTDLP、認知症支援チーム、災害支援対策事業、バリアフリー展事業）で協力した。

副会長

副会長 東條秀則

会長との業務分担として以下のような活動を行った。

1. 日本作業療法士協会や近畿の各士会との連絡調整
 - 1) 47都道府県委員会
県士会の代表として出席。協会と士会の連携強化を目的とした新たな委員会。
4月12日 第1回47都道府県委員会 新しい総合事業等
5月31日 第2回47都道府県委員会 都道府県連絡協議会との役割分担等
7月25日～26日 第3回47都道府県委員会 新たなパイロット事業等
1月16日 第4回47都道府県委員会 日本作業療法士協会50周年記念事業等
 - 2) 都道府県作業療法士会連絡協議会
県士会の代表として出席。ブロックの活動活性化等横のつながりを重視した会。
5月31日 都道府県作業療法士会連絡協議会総会 47委員会との役割分担等
 - 3) 日本作業療法士協会定時社員総会
OT協会の県の代表としての代議員。
5月30日 日本作業療法士協会定時社員総会 事情により議決権行使書にて対応
 - 4) 近畿作業療法士連絡協議会
11月21日 第1回役員交流会 連携事業 事業報告・決算報告
1月9日 第2回役員交流会 連携事業 事業計画・予算報告、今後の開催時期

2. 公益活動

- 1) 奈良県医療推進協議会
適時会議への出席や人選調整。

事務局

局長 西井正樹

1. 会員情報管理の徹底

奈良県士会会員の情報を管理していくためのシステムを徹底して行った。より正確な情報の共有をめざし、会員管理システムの活用、ブロック事務局との連携を密に行った。入退会において、ブロック事務局との連携を行った。

2. 理事会運営

理事会議事録については、ホームページにて会員が閲覧できるようなシステムの構築を行っていく。

3. 情報の伝達

全施設 FAX 等のペーパーレス化をめざしたが、前年度と変わりはない。

福利厚生担当

福利厚生係 西井正樹

1. 会員の慶弔を行った（弔電 2 件）。

2. 会員間の親睦を深めることを目的として、以下の年間行事を企画した。

1) 学会終了後の打ち上げ

当日の学会終了後の打ち上げの会計並びに司会を担当し、啓発委員会と協力して行った。

2) PT・OT・ST 合同ボーリング大会（12 月 4 日）

3) 土会合同の企画を通じて、他職種との連携を図った。

3. 子育て支援

1) 出産に伴う会費補助

会員の出産に伴う次年度の会費免除を行った。

広報担当

広報担当係 大峠ちはる

1. 広報誌（まほろば）の発行

1) 広報誌の発送を年 4 回行った（県士会員、全国都道府県）。

・HP にも広報誌を掲載した。

・求人広告掲載を広く募り、県内各施設の作業療法士の充足を図った。

・Activity や書籍紹介等、新規に企画し会員に情報を提供した。

2) 奈良県作業療法士会ホームページ

・ホームページのバージョンアップを図った。

・1 ヶ月内に約 2 回の割合で情報更新を行った。広報担当

財務担当

副事務局長 毛利陽介

1. ブロック事務局 財務と連携し会費納入に対し迅速に対応する。

- 1) ゆうちょ銀行振替口座を利用し全ての納入した会員への対応が出来ている。

- 2) インターネットを活用しブロック事務局と連携して会費納入後の対応がスムーズに出来ている。
2. ブロック事務局 財務と連携し会費納入率の向上を図る。
 - 1) ブロック財務と連携し未納者へ直接連絡したが、未納者は 1 割程度存在し、其の内半数は退職し連絡が取れない若しくは、退会希望者となっている。
3. 各部局と連携し、予算・支出を管理する。
 - 1) 支出の多い部局では各口座での管理を行っている。
 - 2) すべての部局は 4 半期ごとに決算を行い経費の管理を行う。
4. 税理士と連携し、法令に準じた決算書を作成し納税を行う。
 - 1) 平松税理士事務所と顧問契約を結んでおり、法令に準じて決算書を作成した。
 - 2) 各部局の協力を得て、所得税など法令に準じ適切に納税を行っている。
 - 3) マイナンバー制度について対応を検討している。
5. 財務会議を開催する。
 - 1) 財務会議を 1 回行った。
6. 会員管理システムを管理する。
 - 1) 協会の主催する会員管理システム研修会に参加した。
 - 2) 会費納入などの情報を提供している。

学術部

辰己一彦

1. 第 9 回奈良県作業療法学会への演題査読の実施
 - ・ 査読委員会の設置
 - ・ 査読委員を構成
 - ・ 査読者の選定
2. 演題フォーマットのホームページへの掲載

教育部

木納潤一

生涯教育基礎研修

1. 現職者共通研修
 - ・ 以下、現職者共通研修 10 テーマ中、10 テーマを実施した。
 - ・ 平成 27 年 6 月 14 日 : 事例報告 (参加者 11 名)
 - ・ 平成 27 年 6 月 18 日 : 作業療法生涯教育概論 (参加者 12 名)
講師: 木納潤一先生 (秋津鴻池病院)
 - ・ 平成 27 年 7 月 16 日 : 事例報告と事例研究 (参加者 14 名)
講師: 大西和弘先生 (秋津鴻池病院)
 - ・ 平成 27 年 7 月 23 日 : 日本と世界の作業療法の動向 (参加者 17 名)
講師: 日垣一男先生 (大阪府立大学)
 - ・ 平成 27 年 8 月 06 日 : 作業療法における協業・後輩育成 (参加者 14 名)
講師: 坪内善仁先生 (秋津鴻池病院)
 - ・ 平成 27 年 9 月 07 日 : 保健・医療・福祉と地域支援 (参加者 18 名)

講師：西井正樹先生（関西福祉科学大学）

- ・平成27年9月24日：作業療法の可能性（参加者22名）

講師：前岡伸吾先生（天理よろづ相談所病院）

- ・平成27年10月27日：実践のための作業療法研究（参加者18名）

講師：東條秀則先生（秋津鴻池病院）

- ・平成27年11月17日：職業倫理（参加者14名）

講師：木納潤一先生（秋津鴻池病院）

- ・平成28年1月28日：事例検討（参加者10名）・事例報告（参加者1名）

講師：大西和弘先生（秋津鴻池病院）

2. 現職者選択研修（身体障害領域）

- ・平成27年10月18日：現職者選択研修—発達障害領域（参加者76名 1講座のみ1名）

講座：発達障害領域の基礎知識と作業療法の課題と展望

講師：北野真奈美先生（関西学研医療福祉学院）

講座：子どもの作業療法 ～発達支援と生活支援 ～①

講師：米持喬先生（大阪発達総合療育センター）

講座：子どもの作業療法 ～発達支援と生活支援 ～②

講師：米持喬先生（大阪発達総合療育センター）

講座：自閉症スペクトラム障害児に対する作業療法の実際

講師：大歳太郎先生（関西福祉科学大学）

3. その他

- ・県士会員の生涯教育手帳管理
- ・事例報告研修制度の管理運営、及び事例登録推進

事業部

大西和弘

1. 研修事業

1) 事業部セミナー

1. 「頸髄損傷等の四肢麻痺者に対するADLアプローチ」

講師：松本琢磨先生 神奈川県総合リハビリテーションセンター作業療法学科

日時：平成27年11月15日

場所：秋津鴻池病院

参加者：26名

2. 「作業に焦点を当てた目標設定と実践」

講師：齋藤佑樹先生 こおりやま東都学園 郡山健康科学専門学校

場所：秋津鴻池病院 研修棟

※平成28年度前半に延期

平成27年 人材育成研修セミナー

1. 「OT 誕生50年の今伝えたいこと～これからの作業療法士のあり方～」

講師：山下協子先生 大阪府作業療法士会 副会長

日時：平成 28 年 1 月 30 日

場所：関西学研医療福祉学院

参加者：12 名

2) スキルアップセミナー（全て県士会員は無料）

・「高次脳機能障害の基礎知識と治療介入Ⅰ」

講師：前岡伸吾先生 天理よろづ相談所病院白川分院

日時：平成 27 年 5 月 21 日

場所：奈良県総合リハビリテーションセンター

参加者：41 名

・「高次脳機能障害の基礎知識と治療介入Ⅱ」

講師：前岡伸吾先生 天理よろづ相談所病院白川分院

日時：平成 27 年 5 月 28 日

場所：奈良県総合リハビリテーションセンター

参加者：38 名

・「認知症における作業療法実践」

講師：坪内善仁先生 秋津鴻池病院

日時：平成 27 年 6 月 25 日

場所：秋津鴻池病院

参加者：40 名

・「意味のある作業と作業を援助する必要性」

講師：大松慶子先生 関西学研医療福祉学院

日時：平成 27 年 7 月 19 日

場所：関西学研医療福祉学院

参加者：21 名

・「人間作業モデルで事例を考える」

講師：大松慶子先生 関西学研医療福祉学院

日時：平成 27 年 7 月 19 日

場所：関西学研医療福祉学院

参加者：22 名

・「老年期の作業療法」

講師：東條秀則先生 秋津鴻池病院

日時：平成 27 年 8 月 27 日

場所：秋津鴻池病院

参加者：28 名

・「脊髄損傷者への作業療法」

講師：金星 聡先生 奈良県総合リハビリテーションセンター

日時：平成 27 年 9 月 17 日

場所：奈良県総合リハビリテーションセンター

参加者：35 名

- ・「訪問作業療法 実務と連携」
 講師：安井敦史先生 ユーティ―訪問看護ステーション
 日時：平成 27 年 10 月 15 日
 場所：奈良県総合リハビリテーションセンター
 参加者：24 名
- ・「脳卒中後の上肢麻痺に対する評価とアプローチ」
 講師：北別府慎介先生 西大和リハビリテーション病院
 日時：平成 27 年 10 月 29 日
 場所：西大和リハビリテーション病院
 参加者：51 名
- ・「脳卒中後の上肢麻痺に対する神経筋電気刺激の実践」
 講師：北別府慎介先生 西大和リハビリテーション病院
 日時：平成 27 年 11 月 12 日
 場所：西大和リハビリテーション病院
 参加者：46 名
- ・「手指機能障害への作業療法Ⅰ」
 講師：毛利陽介先生 田北病院
 日時：平成 27 年 11 月 19 日
 場所：田北病院
 参加者：39 名
- ・「手指機能障害への作業療法Ⅱ」
 講師：毛利陽介先生 田北病院
 日時：平成 27 年 11 月 26 日
 場所：田北病院
 参加者：34 名
- ・「精神障害領域で使える評価と治療」
 講師：木納潤一先生 秋津鴻池病院
 日時：平成 27 年 12 月 3 日
 場所：秋津鴻池病院
 参加者：21 名
- ・「ADL 分析」
 講師：西井正樹先生 関西福祉科学大学
 日時：平成 27 年 12 月 8 日
 場所：秋津鴻池病院
 参加者：28 名

2. 啓発事業

1) 内部啓発

- ・啓発委員会会議

平成 27 年 4 月 27 日、6 月 1 日、7 月 21 日、8 月 18 日、9 月 9 日、10 月 6 日、

11月5日、11月24日、12月7日、平成28年1月14日

2) 外部啓発

・家族会

奈良県パーキンソン病友の会奈良支部、家族会への在宅療養訪問相談

平成27年11月19日(木) 高取

・難病支援関連

研修会

平成28年1月9日(土) 10日(日) 難病コミュニケーション支援講座参加

近畿 ALS 協会総会

平成27年5月30日(土) 総会参加 グランキューブ大阪

ALS 患者様在宅訪問(奈良市保健所における難病患者への支援)

平成27年4月1日(水) 天理市在宅訪問 郡山保健所保健師同行訪問

平成27年5月21日(木) 天理市在宅訪問 郡山保健所保健師同行訪問

平成27年5月27日(水) 生駒市在宅訪問 郡山保健所保健師同行訪問

平成27年6月5日(日) 橿原市在宅訪問 中和保健所保健師同行訪問

平成27年6月24日(水) 橿原市在宅訪問 中和保健所保健師同行訪問

平成27年7月1日(水) 大和郡山市在宅訪問 郡山保健所保健師・在宅スタッフ

平成27年7月6日(月) 橿原市在宅訪問

平成27年9月29日(火) 奈良市在宅訪問 奈良市保健所保健師同行訪問

平成27年12月20日(日) 宇陀市在宅訪問 在宅スタッフ同行訪問

奈良県難病支援センター支援者会議

平成27年6月30日

奈良市保健所神経難病支援会議

平成27年8月12日(水)

平成27年12月2日(水)

・介護の日

平成27年11月8日(日) リハビリ相談ブース参加 なら100年会館 9時~17時

・バリアフリー展

平成27年4月16日 17日 18日 バリアフリー展 相談コーナー参加

平成27年8月16日(日) バリアフリー展会議出席 大阪府作業療法士会事務所

・その他

奈良県作業療法士会ホームページ内、事業部ブログ配信

第16回奈良高次脳機能障害リハビリテーション講習会参加

平成28年1月10日(日)

ポータブルトイレ製品事故に伴うリコールへの対応

プライマリケア学会

平成27年11月29日(日)

発表者:「閉じこもりの利用者が楽しみを獲得し外出するようになった一例」

演者: 上野 哲 ユーティータウン訪問看護ステーション

:「一般社団法人奈良県作業療法士会によるコミュニケーション機器支援の取り組み」

演者：倉賀野藍子 鴻池荘訪問リハビリ 事業部

：「一般社団法人奈良県作業療法士会による認知症予防サロンへの取り組み報告」

演者：坪内善仁 秋津鴻池病院 事業部

：「一般社団法人奈良県作業療法士会によるパーキンソン病友の会療養相談の取り組み」

演者：大西和弘 秋津鴻池病院 事業部

平成 27 年度 奈良県高次脳機能障害支援体制検討委員会 参加

3. 委員会活動他

・特別教育支援委員会 活動実績なし

・生涯教育制度推進担当者会議

平成 27 年 10 月 3 日（土）4 日（日） 東京

・訪問リハ

訪問リハビリテーション実務者研修会 3 土会合同

平成 27 年 12 月 5 日（土）20 日（日）

保健福祉部

前岡伸吾

1. 日本作業療法士協会保健福祉部との情報の共有と会員への周知

1) 診療報酬・介護報酬改定に向けての情報収集を行った。

2. 診療報酬に関する研修会の実施

1) 平成 27 年度介護報酬改定についての研修会を実施した。

3. 奈良県保険医協会との連携

1) 奈良県保険医協会と交流を深める中で情報収集や意見交換、研修会などへの参加を行った。

4. 保健福祉部会議の実施

1) 年 2 回（6 月と平成 28 年 3 月）部局会議を実施した。

北和ブロック

ブロック長 土井一輝

1. 北和ブロック会員の入退会・異動、会費納入の管理を行った。

2. 北和ブロック会議を 3 回実施した。

第 1 回北和ブロック会議（研修会準備のための会議）

日程：平成 27 年 10 月 16 日 内容：研修会の仕事内容の確認・検討 参加者数：3 名

第 2 回北和ブロック会議（研修会後の反省会）

日程：平成 27 年 10 月 25 日 内容：北和ブロック研修会の反省 参加者数：4 名

第 3 回北和ブロック会議

日程：平成 27 年 11 月 27 日 内容：施設紹介 MTDLP の概要説明 参加者数：15 名

3. 北和ブロック研修会の企画・運営を行った。

日程：平成 27 年 10 月 25 日

テーマ：「就労支援の作業療法 ～医療との連携～」

講師：西尾五郎先生（地域支援センターあーす） 参加者数：12 名

4. 第 9 回奈良県作業療法学会実行委員会を 6 回行った

学会引き継ぎ

日程：平成 27 年 10 月 28 日 場所：西大和リハビリテーション病院 参加者数：5 名

第 1 回会議

日程：平成 27 年 11 月 4 日 内容 係り決め、講師・テーマ選定 参加者数：11 名

第 2 回会議

日程：平成 27 年 11 月 25 日 内容 進捗状況確認、講演についての話し合い

参加者数：9 名

第 3 回会議

日程：平成 28 年 1 月 27 日 内容 進捗状況確認、タイムスケジュール・座長選定

参加者数：9 名

第 4 回会議

日程：平成 28 年 2 月 9 日 内容 進捗状況確認、講演テーマ確認 参加者数：9 名

第 5 回会議

日程：平成 28 年 3 月 1 日 内容 進捗状況確認、文面確認 参加者数：7 名

中和ブロック

ブロック長 北別府慎介

1. 中和ブロック会員の入退会・異動、会費納入の管理を行った。
2. 中和ブロック会議を開催した。
第 1 回：平成 27 年 5 月 26 日（内容：第 8 回奈良県作業療法学会実行委員会）
3. 第 8 回奈良県作業療法学会の開催
テーマ：作業療法士にできること
日 程：平成 27 年 6 月 14 日（日）
場所：王寺町やわらぎ会館
参加者：123 名

南和ブロック

ブロック長 金星聡

1. 南和ブロック会員の入退会・異動、会費納入の管理を行った。
2. 南和ブロック会議を開催した。
第 1 回：平成 27 年 10 月 19 日（内容：ブロック研修会の企画について）
第 2 回：平成 28 年 1 月 21 日（内容：各種届出について 他）
3. MTDLP 啓発活動（概論説明会開催）を行った。
日 程：平成 28 年 1 月 21 日
参加者：16 名
4. 南和ブロック研修会を開催した。
テーマ：地域で生きる ～作業療法士にできること～
日 程：平成 28 年 2 月 11 日
参加者：27 名

各種委員会

(常設委員会)

倫理委員会

委員長 東條秀則

奈良県作業療法士会 倫理問題担当窓口

規約検討委員会

委員長 木納潤一

マイナンバー制度に伴う細則、表彰委員会に関する細則を作成した。

5ヶ年計画委員会

委員長 大松慶子

今年度は4年目にあたり、計画の進捗状況確認のため、11月に1回会議を開催した。結果、各担当部門とも、概ね目標どおりに実施できていた。2016年度以降の課題と新たな委員の相談を行った。

生活行為向上マネジメント委員会

委員長 西井正樹

1. 研修会の開催

1) 近畿連絡協議会との共催

・基礎研修(2回)および事例検討会(2回)を行った。

2) 研修会の開

・基礎研修(2回)および事例検討会(1回)を行った。

2. 日本作業療法士協会主催 会議の参加

1) 推進会議

・年2回の推進会議に参加した。

2) 指導者会議

・年1回の指導者会議に参加した。

認知症支援委員会

委員長 東條秀則

1) 4月1日から 吉野町認知症予防サロンに4名の委員輪番で週1回参画

2) 10月4日 近畿作業療法士連絡協議会 認知症初期集中支援チームにかかわる研修会
奈良県士会から11名参加

災害支援対策委員会

委員長 東條秀則

1) 奈良県担当者での会議開催(Dr、Ns、PT、ST、OT)

2) 8月30日 近畿作業療法士連絡協議会 災害支援対策研修会
HUG等実施 奈良県士会から7名参加

3) 災害時士会内会員安否確認の検討

4) 1月10日~11日 第5回JIMTEF 災害医療研修会受講

DMAT(厚労省)、JMAT(医師会)、JRAT(リハ関連団体)の連携等学習

地域包括ケアシステム委員会

委員長 安井敦史

・地域包括ケアシステム啓発を目的に「出前講座」を開催

- ⇒8施設で開催し、OT以外の多職種を含め180名の参加
- ・奈良県による「地域医療介護総合確保基金」での補助金事業を実施
 - ⇒2月26日・3月5日の研修会を企画し、始めて県庁、市町村の行政職にも広報
- ・28年度に向けて「地域医療介護総合確保基金」の事業提案を提出
- ・3土会会議にて、人材育成制度での相互協力の方針決定
- ・市町村での「新しい総合事業」への参画
 - ⇒御杖村・王寺町・橿原市での事業への参画

(特設委員会)

選挙管理委員会

委員長 谷川朋子

1. 日本作業療法士協会代議員選挙に対応した。
2. 奈良県作業療法士会 理事改選選挙を行った。

【自治体および各種団体より依頼された委員】

【奈良県】

- ・ 奈良県発達障害就労支援連絡協議会委員
(宮崎瑠璃子)

【奈良市】

- ・ 奈良市介護給付等の支給に関する審査会委員
(大西美雪、早川智美、佐藤いづみ、宮崎瑠璃子、北野真奈美、前岡伸吾)
- ・ 介護認定審査会委員
(西井正樹、島本良重)

【奈良県難病支援センター】

- ・ 在宅療養難病患者コミュニケーション支援協力者
(大西和弘、星合直子、倉賀野藍子、坪内善仁)

【奈良市保健所】

- ・ 在宅療養難病患者コミュニケーション支援協力者
(大西和弘、星合直子)

【王寺町】

- ・ 認知症初期集中支援チーム検討委員 (安井敦史)

【大和郡山市】

- ・ 地域ケア会議ワーキングチーム (毛利陽介、安井敦史)

【他団体】

- ・ 奈良脳外傷友の会あすか (北野真奈美)
- ・ 奈良高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員 (北野真奈美)

【平成28年度 (一社)奈良県作業療法士会 優秀学生賞】

関西学研医療福祉学院 作業療法学科 3年 大島優子 (おかたに病院)

第二号議案 平成二十六年 度 予算報告

第三号議案 平成二十七年 事業計画

会長

大松慶子

1. 地域包括ケアシステムにおける自治体での会員の活動を広げる
2. 外部啓発の充実
3. 認定作業療法士を 15 名に増やす
4. 近畿連絡協議会、奈良県理学療法士協会、奈良県言語聴覚士会と連携していく

2016 年度は、地域包括ケアシステムに基づき、自治体での予防的活動が今年以上に求められる。勤務先の対応など様々な問題はあるが、これを作業療法士自身の課題と捉えて活動に参加できる会員を増やし、同時に作業療法士の認知度を高めていきたい。

質的向上の目標では、昨年度も掲げた認定作業療法士 15 名を目指す。

他機関との協力では、近畿連絡協議会、奈良県理学療法士協会、奈良県言語聴覚士会と連携していく。

副会長

東條秀則

1. 引き続き奈良県士会以外の対外的な会長の補佐
 - 1) 47 都道府県委員会
県士会の代表として出席。協会と士会の連携強化を目的とした委員会。
50 周年記念事業等。
 - 2) 都道府県作業療法士会連絡協議会
県士会の代表として出席。ブロックの活動活性化等横のつながりを重視した会。
 - 3) 日本作業療法士協会定時社員総会
OT 協会の県の代表としての代議員。
 - 4) 近畿作業療法士連絡協議会
役員交流会への出席
各連携事業への取り組み
2. 公益活動
 - 1) 奈良県医療推進協議会
適時協力
 - 2) その他適時協力

事務局

局長 西井正樹

1. 会員情報管理の徹底
2. 理事会運営
理事会専用のサイボウズなどのシステムを構築する。
3. 情報の伝達

全施設 FAX 等のペーパーレス化をめざすために、SNS を活用していく。

福利厚生担当

福利厚生係 西井正樹

1. 会員の慶弔
2. 学会終了後の新入会員の歓迎会および学会打ち上げ
3. 子育て支援
 - 1) 出産に伴う会費補助
4. 奈良県作業療法士会から各会員へ委託した事業についての作業療法士総合保険への補助

広報担当

広報担当係 大峠ちはる

1. 広報誌（まほろば）の発行
2. 奈良県作業療法士会ホームページ
3. 外部啓発向けの別冊の作成

財務担当

副事務局長 毛利陽介

1. ブロック事務局 財務と連携し会費納入に対し迅速に対応する。
2. ブロック事務局 財務と連携し会費納入率の向上を図る。
3. 各部局と連携し、予算・支出を管理する。
4. 税理士と連携し、法令に準じた決算書を作成し納税を行う。
5. 財務会議を開催する。
6. 会員管理システムを管理する。
7. マイナンバー制度に対して適切に運用する。

学術部

辰己一彦

1. 奈良県作業療法学会査読体制の見直し
 - 1) 査読実務のマネジメントを行う部員の養成
 - 2) 部局員への査読体制の周知を図る
 - 3) 分野別査読委員の選定
 - 4) 査読者への委嘱状発行
2. 近畿作業療法学会演題査読実施
3. SIG の管理
4. 研究発表に関する勉強会開催
 - 1) 一般演題、事例報告の要項説明
 - 2) 研究に関する基礎知識と文献検索
 - 3) 研究計画法の講習会

教育部

木納潤一

1. 生涯教育基礎研修

- 1) 現職者共通研修を以下の要領で実施予定。
 - ・作業療法生涯教育概論 H28.6月予定
 - ・事例報告（奈良学会） H28.6月予定
 - ・事例報告と事例研究 H28.7月予定
 - ・保健・医療・福祉と地域支援 H28.8月予定
 - ・職業倫理 H28.9月予定
 - ・実践のための作業療法研究 H28.10月予定
 - ・作業療法の可能性 H28.11月予定
 - ・作業療法における協業・後輩育成 H28.12月予定
 - ・日本と世界の作業療法の動向 H29.1月予定
 - ・事例検討、事例報告 H29.2月予定
- 2) 現職者選択研修について、平成28年度は身体障害領域を実施予定。

※8月、9月頃、開催予定

2. 生涯教育手帳管理
3. 事例報告登録研修制度の実施と事例登録の推進
4. 生涯教育基礎研修修了者への修了申請手続きの促進
5. 生活行為向上マネジメントに関連する研修会の支援

事業部

大西和弘

1. 研修事業

1) 事業部セミナー

平成28年 事業部セミナー

1. 「作業に焦点を当てた目標設定と実践」

講師：齋藤佑樹先生（こおりやま東都学園 郡山健康科学専門学校）

日時：平成28年5月14日（土）

場所：秋津鴻池病院 研修棟

2. 「作業関連（仮題）」

講師：酒井ひとみ先生 横井先生（関西福祉科学大学）

日時：未定

場所：未定

3. 「身障領域関連（仮題）」

講師：未定

日時：未定

場所：未定

※詳細は今後確定次第アナウンス予定

平成28年 人材育成研修セミナー（現職者基礎研修修了者及び臨床経験5年以上対象）

1. 「検討中」

※詳細は今後確定次第アナウンス予定

2) スキルアップセミナー（全て県士会員は無料）

- ・「意味のある作業を考えよう（NEW）」
- ・「高次脳機能障害の基礎知識と治療介入Ⅰ」
- ・「高次脳機能障害の基礎知識と治療介入Ⅱ」
- ・「手指機能障害への作業療法Ⅰ」
- ・「手指機能障害への作業療法Ⅱ」
- ・「老年期の作業療法～「作業」「参加」の視点再考（仮）～」
- ・「脳卒中患者の上肢麻痺に対する作業療法（NEW）」
- ・「作業療法の場で活かせる物理療法～神経筋電気刺激を中心に～（NEW）」
- ・「認知症における作業療法実践」
- ・「急性期・回復期の精神科作業療法 ～事例検討を中心に～（NEW）」
- ・「地域で求められる作業療法士のあり方（NEW）」
- ・「肩関節機能障害へのアプローチ（NEW）」

※詳細は追ってホームページ及びメーリングリスト等でアナウンス予定

2. 啓発事業

1) 内部啓発

- ・啓発委員会を中心に、県士会員への働きかけを行う。
平成29年度「作業療法の日」を開催に向け、検討会議予定

2) 外部啓発

- ・家族会
奈良県パーキンソン病友の会奈良支部、家族会への支援
- ・難病支援関連
研修会への参加
奈良県難病支援センター及び県内保健所における難病患者への支援
家族会支援
- ・介護の日
リハビリ相談ブースへの参加（PTST 土会合同）
- ・バリアフリー展
平成28年4月21日22日23日 参加
- ・その他
奈良県高次脳機能障害支援体制検討委員会

3. 活動支援他

1) 委員会及び専門部会

- ・特別教育支援委員会
- ・訪問リハ関連
- ・生涯教育制度推進担当者会議出席

保健福祉部

前岡伸吾

1. 日本作業療法士協会保健福祉部との情報の共有と会員への周知
 - 1) 定期的に配信される診療改訂に向けた情報を必要に応じてHPに掲載する
 - 2) 診療報酬・介護報酬改定に向けての情報収集を行う
2. 診療報酬に関する研修会の実施
 - 1) 必要に応じて診療報酬・介護報酬改定に向けた研修会を実施し、また情報交換会の機会を設ける
3. 奈良県保険医協会との連携
 - 1) 奈良県保険医協会と交流を深める中で情報収集や意見交換、研修会などへの参加を行っていく
4. 保健福祉部会議の実施
 - 1) 年2回（5月と平成29年2月）部局会議を実施する

北和ブロック

ブロック長 土井一輝

1. 第9回奈良県作業療法学会を企画・運営する。（平成28年度6月）
2. 北和ブロック会議を実施し、来年度ブロック研修会の準備を行う。集まりの中で会員同士のつながりを強化する。生活行為向上マネジメントの会員に向けての啓発を行う。
3. ブロック財務と連携し、北和ブロックのスムーズな運営を図る

中和ブロック

ブロック長 北別府慎介

1. 第9回奈良県作業療法学会を企画・運営する。（平成28年度6月）
2. 北和ブロック会議の実施
 - 1) 来年度ブロック研修会の準備を行う。
 - 2) 集まりの中で会員同士のつながりを強化する。
 - 3) 生活行為向上マネジメントの会員に向けての啓発を行う。
3. 北和ブロック事務局機能の管理
 - 1) 北和ブロック財務と連携し、会員管理など北和ブロック事務局のスムーズな運営を図る。
 - 2) 北和ブロックメーリングリストを活用し、事務連絡等を迅速に行う。
 - 3) 災害時緊急連絡のブロック内システムを構築する。

南和ブロック

ブロック長 金星聡

1. 南和ブロック研修会の開催
2. 南和ブロック会議の開催
 - 1) 平成28年度内で2回開催（予定）する。
 - 2) 内容は主にブロック研修会の企画・準備とする。
 - 3) 会議内でMTDLPの啓発活動も行う。
3. 南和ブロック事務局機能の徹底
 - 1) 南和ブロックメーリングリストによる事務連絡等を迅速に行う。
 - 2) 南和ブロック会員の入退会・異動、年会費納入の正確な管理を事務局と財務部の連携により行う。
 - 3) 災害時緊急連絡のブロック内連絡システムを構築する。

各種委員会（常設委員会）

倫理委員会

委員長 東條秀則

奈良県作業療法士会 倫理問題担当窓口

規約検討委員会

委員長 木納潤一

細則の作成・変更を継続する。

5ヶ年計画委員会

委員長 大松慶子

1. 計画の進捗状況確認
2. 新たな委員の招集と、次期5ヶ年の課題の決定
3. チーム分けと課題の検討・対策
4. 定期的な会議の開催

生活行為向上マネジメント委員会

委員長 西井正樹

1. 基礎研修会の実施（8月・12月）
2. 実践者研修会の実施（各奇数月の夜間に開催）
3. 指導者の育成

認知症支援委員会

委員長 東條秀則

- 1) 吉野町認知症予防サロン継続参画
- 2) 近畿作業療法士連絡協議会 連携事業参画、研修会の企画・運営
- 3) 行政との連携 認知症初期集中支援チーム対応の検討
- 4) 士会内委員会整理

災害支援対策委員会

委員長 東條秀則

- 1) 奈良県担当者での会議開催、研修会検討
- 2) 近畿作業療法士連絡協議会 連携事業参画、研修会の企画・運営
- 3) 災害時士会内会員安否確認の構築・試行

地域包括ケアシステム委員会

委員長 安井敦史

- ・ 委員間での連絡体制の強化と情報共有
⇒ 会議の開催にて士会の方針・今後の対策などの共有を行う
- ・ 行政との相談体制の構築を図る
⇒ 県内各地での相談担当者の設置
- ・ PT/ST士会と協力して人材育成の体制をつくる
- ・ 会員向け研修会・多職種合同での研修会の企画・開催
⇒ 県の「地域医療介護総合確保基金」事業の継続
- ・ 市町村での「新しい総合事業」への参画

特設委員会

選挙管理委員会

委員長 谷川朋子

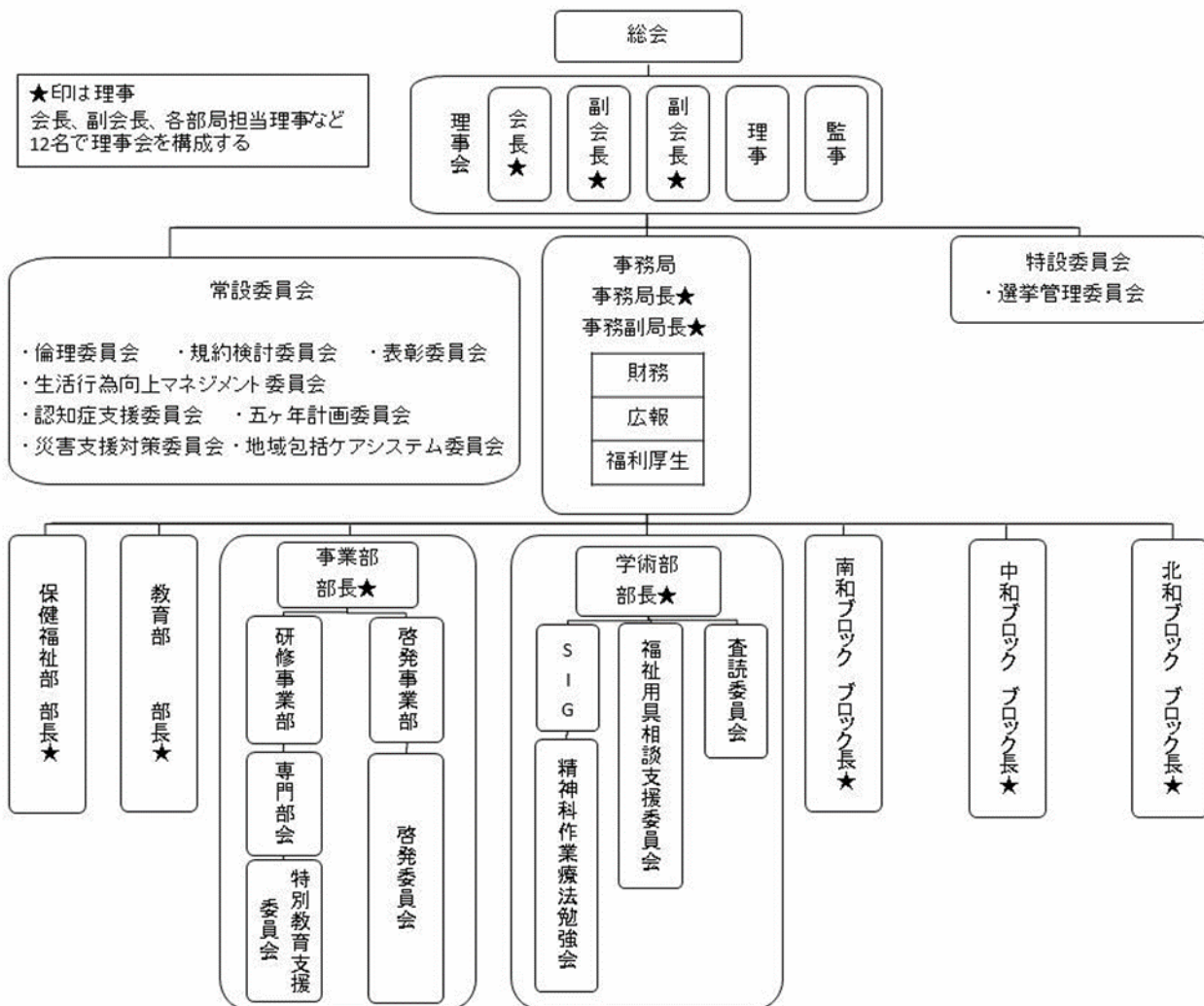
1. 選挙に応じて、対応する。

第37回近畿作業療法学会準備委員会

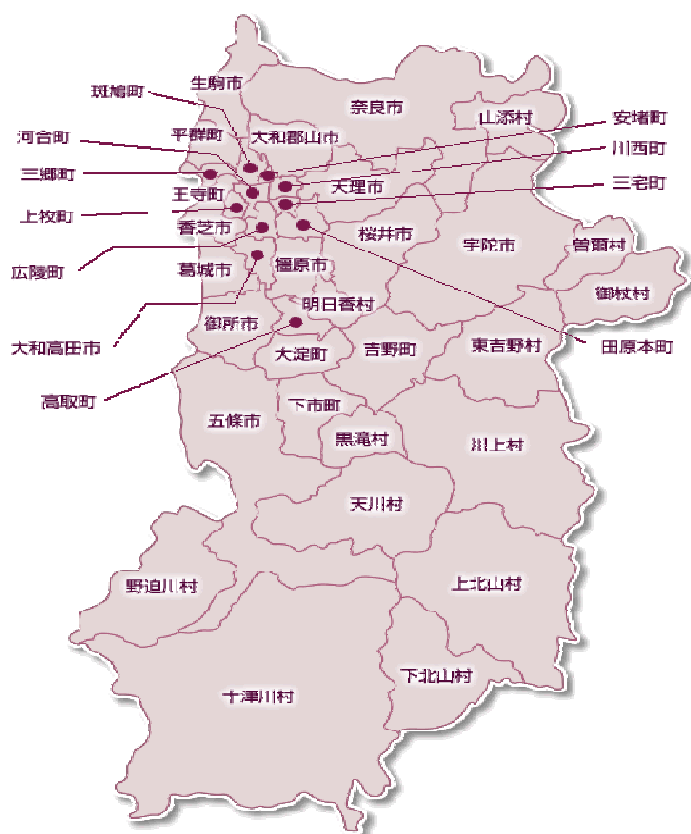
学会長 東條秀則

平成29年10月1日開催へ向けて

一般社団法人 奈良県作業療法士会 組織図



一般社団法人 奈良県作業療法士会 所属ブロック



北和ブロック

奈良市 生駒市

中和ブロック

天理市 大和郡山市 生駒郡 北葛城郡 香芝市

南和ブロック

桜井市 五條市 宇陀市 大和高田市 橿原市 葛城市 御所市 高市郡
磯城郡 吉野郡